

常滑市立常滑西小学校 児童育成クラブ



外観

「常滑市立常滑西小学校」の一角にある、常滑市運営の児童育成クラブ。2024(令和6)年4月現在、1年生から6年生まで約160名が在籍している。



入口・教室

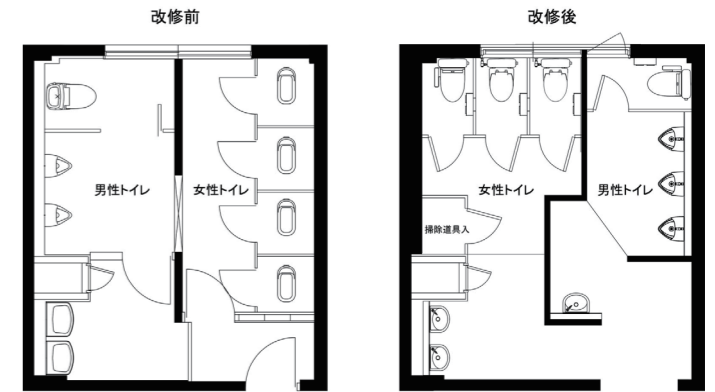
学校の昇降口とは別に、児童育成クラブの入口が設けられている。また、教室には椅子とテーブルや畳敷きの空間などがあり、自由に選んで利用できる。



トイレ入口

改修前のトイレ入口には扉があったが、改修を機にレイアウトを見直しドアレスに変更。照明は人感センサーで自動に点灯する設定になっており、操作部は児童の手が届かない場所に設置している。

トイレ図面



女子トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーの水栓は、手で触れずに肘などで開閉操作ができるレバーハンドルを採用。トイレ内ではスリッパに履き替える。上履きのゾーンと、スリッパのゾーンがわかりやすいように床材の色を変えている。



女子トイレ
大便器コーナー

全ブースが利用されて扉が閉まっているにも、トイレ全体に自然光が入りこむように工夫。また、児童が触れやすいトイレ内の腰壁部分には、汚れが付きにくい仕上げ材を施している。



女子トイレ
大便器ブース

大便器は、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。さらに、男・女トイレそれぞれ1ヶ所にウォシュレットを設置。紙巻器は棚付きとし、ハンカチなどの小物が置けるよう配慮している。

水まわりの特長

改修の経緯

児童育成クラブ(放課後児童クラブ)は、保護者が仕事などの事情で昼間家庭にいない児童に対し、学校終了後や学校休業日に適切な遊びおよび生活の場を提供し、その健全育成を図ることを目的として実施されている。中部エリアの空の玄関口として、国際線・国内線の充実した航空ネットワークを誇る「中部国際空港 セントレア」や焼き物の産地として知られる愛知県常滑市では、市運営の児童育成クラブを8ヶ所設置。そのうち開校45周年を迎える「常滑市立常滑西小学校」の一角で運営される児童育成クラブにおいて、児童の利便性向上を目的として、トイレの改修が実施された。

トイレの特長

児童が使用することを念頭に、可能な限り衛生性や使いやすさに配慮。今回の改修でトイレ入口の扉を撤去し、非接触で出入りができるようドアレスに変更。また、共用で使用していた洗面コーナーを、男・女トイレそれぞれに設置し、吐水・止水操作を手で行わず、肘などで操作が可能なレバーハンドルの水栓を採用。さらに、改修前の女子トイレは和式便器だったが、すべて洋式便器に変更。男子トイレの小便器も床置きから、清掃性に優れた壁掛けに変更されている。大便器には、男・女トイレのそれぞれ1ヶ所にウォシュレットも設置し、快適性に配慮した細やかな工夫がされている。



女子トイレ
掃除用具入れ

女子トイレに新設した掃除用具入れ。以前使用していた用具や予備品をまとめて収納することで、トイレ内空間が整頓される。



男子トイレ
小便器コーナー

小便器は、近づきやすい形状で床の清掃がしやすい、低リップの壁掛小便器を採用している。



改修前

老朽化が見られた改修前のトイレは、男子トイレには床置小便器、女子トイレ内には和式便器が設置されていた。

建築概要

名称	常滑市立常滑西小学校 児童育成クラブ
所在地	愛知県常滑市本町3-136
施主	常滑市
設計	株式会社土居設計
施工	株式会社 谷川組
竣工年月	(改修)2024年3月
建築面積	699㎡
延床面積	2,400㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階
おもなTOTO使用機器	
パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BMT	
ウォシュレットSB:TCF6623 / 棚付二連紙巻器:YH701	
壁掛小便器:UFH500 / 壁掛手洗器:L30D	
立水栓:T205QFR C	